



# 10月は何の月間？

## 考え方のヒントはSDGs

**10月は食品ロス削減月間**  
10月30日 食品ロス削減の日

日本の食品ロス量は年間522万トン。1人あたり1日お茶碗1杯、国全体ではお茶碗1億杯以上の食べものを毎日捨てていることになります。その結果、限りある資源の減少や環境負荷の増大、地球温暖化などあなた自身の生活に影響を及ぼしています。

食品ロス問題なんて自分には関係ないと思いませんか。

ポスターデザイン/田村 真夫

## 食品ロス削減月間

「もったいない」を減らそう——。消費者庁、農林水産省、環境省は、食べられるのに捨てられてしまう食品の削減に取り組む、10月を「食品ロス削減月間」としている。

日本の食品ロス量は年間522万トンもあり、国民1人当たりに換算すると、毎日ご飯茶碗1杯分を捨てていることになる。

各家庭で取り組むのはもちろん、飲食店や小売店においても、食べ残しの出ない量で提供することや、商品棚の手前にある賞味期限の近いものから取ってもらい廃棄を防ぐことなどが求められている。

木づかいが 森をよくする 暮らしを変える

## ウッド・チェンジ

森の資源の循環利用

使う → 植える → 育てる → 伐る → 使う

「ウッド・チェンジ」は、身の回りのものを木に変える、木を暮らしに取り入れる、建築物を木造化・木質化するなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動です。

木材利用促進本部  
農林水産省 総務省 文部科学省 国土交通省 経済産業省 環境省

10月は木材利用促進月間

## 木材利用促進月間

木を暮らしに取り入れて、持続可能な社会へ——。「木材利用促進月間（10月）」を呼び掛けるのは農林水産省、国土交通省、経済産業省など6省。漢字の十と八で「木」という字になり、10月8日を木材利用促進の日としていることにちなむ。

日本の国土の約3分の2を占める森林から生まれる木材を活用することで資源の循環、地球温暖化防止、国土保全につながり、林業や木材産業の振興による地域経済の活性化も期待される。

身の回りのものを木に変えたり、建築物を木造・木質化したりすることを「ウッド・チェンジ」と呼び、国民運動へと行動を促す。

3R推進月間

減らそう 繰り返し使おう 活かそう

地球上の天然資源は無限ではありません。限りある資源を

Reduce ゴミを減らそう  
捨ればただのゴミ、分ければ資源です。

Reuse 繰り返し使おう  
工夫次第で何度でも使えるかも？

Recycle 資源として再利用  
いらなくなったものが、生まれ変わります。

3R

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会

三つのRとは、リデュース、リユース、リサイクル——。経済産業省、環境省、消費者庁など関係する省庁は10月を「3R推進月間」とし、普及啓発に取り組む。天然資源の消費を抑え、環境への負荷を低減し、持続可能な循環型社会を目指す。

事業者ができることとしては、例えば製品を長く使い廃棄物の発生を抑えること、びんや容器を回収して繰り返し使うことなどだ。ポスターは、行政、消費者、産業界が連携する広い国民運動を展開するため3R推進協議会がデザインを公募し製作したもの。